

福岡県バス対策協議会 議事概要

1. 日 時：令和 6 年 6 月 25 日(火) 10:00～10:45
2. 場 所：福岡県庁 特別東会議室
3. 出席者：福岡県バス対策協議会委員 6 名（福岡県企画・地域振興部長（会長）、九州運輸局福岡運輸支局長（副会長）、九州運輸局自動車交通部長、福岡県市長会会長、福岡県町村会会長、一般社団法人福岡県バス協会会長
※福岡県市長会及び一般社団法人福岡県バス協会は代理出席

4. 内 容

(1) 議案第 1 号 「福岡県交通ビジョン 2022 別冊」(案) について

・・・本案を国に申請することについて承認

○事務局からの説明

- ・資料 1－①、1－②、参考資料①、②、③に基づき、「福岡県交通ビジョン 2022 別冊」(案)の概要等について、事務局から説明（12 事業者 59 系統）。

○議案第 1 号についての意見

・なし

(2) 議案第 2 号 福岡県バス対策協議会規約、福岡県バス対策協議会運営要領及び福岡県バス対策協議会ブロック別地区協議会設置要領の改正について

・・・改正について承認

○事務局からの説明

- ・資料 2－①～⑦に基づき、福岡県バス対策協議会規約、福岡県バス対策協議会運営要領及び福岡県バス対策協議会ブロック別地区協議会設置要領の改正の概要等について、事務局から説明。

○議案第 2 号についての意見

・なし

(2) 報告第 1 号 バス路線の廃止申出状況について

○事務局からの説明

- ・資料 3－①、資料 3－②に基づき、令和 5 年度のバス路線廃止申出状況について事務局から説明。

○報告第 1 号についての意見

・なし

(3) その他

【バス事業の現状と今後について】

○一般社団法人福岡県バス協会

- ・バス事業者は運転手不足が顕著に現れてきている。すべての路線において、利用者の希望に応える努力はしているが、採算がとれにくいところはやむを得ず廃止・減便となることもあり、そのあとの対策を市町村が運営する地域公共交通会議などで検討している。バス事業者も利用者の期待感を裏切ってはいけないという思いのもと、いかにして維持していくかという努力をしていることを御理解いただきたい。
- ・添田の日田彦山線 BRT など、今後、バスは地域住民の生活の足だけでなく、観光の役割も果たす場合もある。今後ともいい知恵があれば皆様からの支援をいただきたいと考えている。
- ・バス事業として、このまま継続していけるのかということは問題視している。運転手不足だけでなく、環境問題なども関係してくる。現在開発されている自動運転の導入が進むと運転手不足が解消されていくなど、時代の変遷もあるため、臨機応変な対応を皆様方と協議しながら対応してまいりたいと考えている。今後ともよろしく願いたい。

○会長

- ・運転手不足について、県でも喫緊の課題として危機感を持っている。昨年度は「福岡県地域公共交通運転手不足問題検討会議」を行い、現状や課題を共有した上で、今年度は運転体験会や合同会社説明会などの取組を行い、運転手を確保し、地域の足を守っていきたいと考えている。引き続きよろしく願います。

【生産性向上の取組について】

○九州運輸局自動車交通部

- ・運転手不足や少子高齢化による利用者の減少などにより、収支率の改善や生産性向上の取組を各事業者工夫して行っていると思う。補助対象系統における生産性向上の取組で、他と違った取組があれば教えていただきたい。

○事務局

- ・補助対象系統ではないが、宗像市の AI オンデマンド「のるーと」の事例を紹介する。自治体が利用促進のため、住民に対し何度も説明会を行ったり、駅に隣接した施設に「のるーと」アプリの相談窓口を設置したりするなど、アプリで簡単にバスが利用できることを周知している。この結果、全体の利用者のうちアプリの利用者が8割を占めており、収支率もコミュニティバスとしては高いものとなっている。

○九州運輸局自動車交通部

- ・利用者を増やしていくために、バスのファンを増やすことが今後も非常に大事となってくる。高校に行き働きかけを行うこともあるが、より若い層である小中学生、さらには幼稚園くらいのお子さんに対し、体験乗車会などを行いファンを増やしていく。これも将来的に長い目で見たら一つの収支改善になっていくと考える。

○会長

- ・北九州市で実施された「地域公共交通市内1日無料デー」のようなイベントは、バスに乗ったことがない子どもにもバスに乗る機会となり、ファンを増やすことができるといったことにもなると考える。